

またも 県民・市町に痛み押しつけ 「第3次行革プラン」(案)

兵庫県は、12月17日、「第3次行財政構造改革推進方策(案)」を発表しました。

県民への意見募集(パブリックコメント)は年末年始をはさんだ3週間だけで、来年度から実施しようという乱暴さです。

老人・ひとり親家庭の医療費助成や私学助成を削減

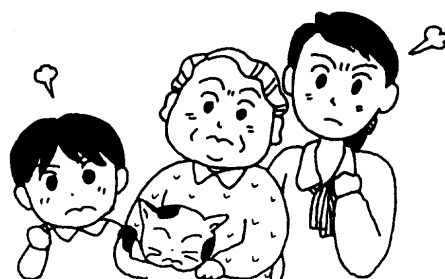
老人医療費助成は、これまで窓口負担が1割負担だった人(低所得者Ⅰ)を2割負担に、2割負担だった人(低所得者Ⅱ)の助成を廃止(3割負担)。ひとり親家庭医療費助成は、所得制限を強化し、5万7千人も対象外にします。私学助成は、授業料軽減と経常費補助の県の子算を減らし、県外の高校へ通う生徒への補助は原則打ち切り。

その他の事業もあわせ、5年間で県民サービスなどを219億円削減、職員数の3割削減を引き続き進めるとしています。

	現行	改悪案
老人医療	低所得者Ⅰ(住民税非課税世帯・世帯全員が所得なし) 1割負担	2割負担 1万3千人が負担増
	低所得者Ⅱ(住民税非課税世帯・所得80万円以下) 2割負担	廃止(3割負担に) 8千人が負担増
ひとり親家庭医療	1医療機関につき1日600円(低所得者400円)	5万7千人を対象外に。 収入200万円以下のみ対象にし、対象外となった親は3割負担。 (中学生以下の子どもは子ども医療費助成の対象に)

ほかにも…

- ・ バス運行のための市町支援をカット
- ・ 老人クラブ等への支援を削減
- ・ 若者の就職を支援する「若者しごと倶楽部 サテライト」(尼崎)を廃止
- ・ シカ駆除のための助成の予算を削減
- ・ 放課後児童クラブと子ども教室の連携・一体的運用の推進
- ・ 県民局の統廃合 など



**パブリックコメント(県民からの意見募集)が行われています(12月18日~1月7日)。
県に意見を出しましょう!!**

裏面参照

母子家庭の医療費助成は命綱! 削らないで!

もっと県民の声を聞いて。決め方が乱暴すぎる! パブコメ延長を。

私学助成を削らないでください。大企業への補助こそ見直して!

日本共産党県議団ニュース
2013年12月号外
〒650-8567
神戸市中央区下山手通5丁目10-1
兵庫県議会内日本共産党議員団控室
078-341-7711 内線5251
<http://hyogo.jcp-giin.net/>